

2024年3月期 第2四半期決算説明会(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の中国工場の現在の状況

A: メモリ関連を中心とした半導体設備投資の調整局面などにより、1Qと比べて稼働率は落ちております。

Q: 上期実績の捉え方

A: 期初予想に対して、ほぼ想定通りの結果でした。機器が若干弱かったですが、その分を自動機で補うことができました。

Q: 機器 セグメント利益率 2桁の水準を維持している要因

A: 現在、ダウンサイクルの厳しい状況下ではございますが、自動化などの取り組みを推し進め、生産性を改善してきた効果が出ているとみております。

Q: 機器 空気圧機器 売上高

A: 前期対比で上期売上高が減少した主な理由は、中国など海外市場の需要が減少したためです。

Q: 2024年3月期業績予想 下方修正の理由

A: 在庫調整などの半導体設備投資抑制の影響が期初の想定よりも長期化し、3Q以降も継続するとみていること。また、中国を始めとする海外市場の需要が弱く、その影響を考慮いたしました。

Q: 機器 半導体 投資見通し

A: ロジックは下期後半から、メモリでは、DRAMは来期の早い段階で動きが出てくるとみております。NANDは在庫調整が長期化しており、遅れて回復に向かうとみております。

Q: 機器 半導体 中国ビジネスの考え方

A: 米中規制の影響で最先端から成熟向けに切り替わっているとみております。

Q: 機器 半導体 今後の事業機会

A: 成長機会の高い製造工程向けに製品開発を推し進めるとともに、生産能力を增強し、拡大が見込める半導体需要をしっかりと捉えていきます。

Q: 設備投資の考え方

A: 中長期の事業拡大を見据えて設備投資を進めておりますが、市場動向を見ながら臨機応変に対応してまいります。